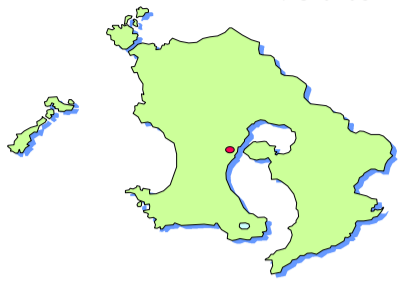


# 医療者のための 鹿児島方言

鹿児島市を中心とする地域  
Ver.1.0



医療・看護の場面で重要な順に  
編集してあります

数字の順に折っていくと、手帳に  
挟み込めるサイズになります

ここに示した方言は鹿児島市を  
中心に使われる方言です

③山折り

1 応答・感嘆  
患者さんの応答を知るために

「はい・いいえ」に関しては  
独特の表現はありません。

いてっ → 熱い!、痛い!



やっせん → だめ  
んだましたん → おやまあ

2 挨拶

あいがて → ありがとう  
ゆくさ → ようこそ

④谷折り

3 不快感・症状・病名

あんべ → 具合、体調  
こえ → 倦怠感がある  
○カラダガ コエトナー。(体がだるいなあ。)

しょつきれ、えぎれ  
→ 低血糖状態・空腹でふらふらする  
せく → さすような痛み(腹や胃部)

○イガ セク。○ハラガ セク  
のさん → つらい、きつい、困る  
\* 思いどおりにならない様をいう  
ちのやんめ → うつ屈状態  
更年期の不快感やうつ状態  
てせー、てそい  
→ 病的なだるさ(高齢者が使う)

やっせん → だめ

たい → 帯状疱疹  
つ → かさぶた  
つぐろじん → 内出血

⑤山折り

4 程度・頻度・擬態語

がつつい → とても、ぴったり  
じっ → ひどく

○ジッダレタ。(ひどく疲れた)  
ずるっ → 全部  
ずんばい → たくさん  
ひん、ひっ → 強調することば  
○ヒンダレタ。(とても疲れた。)  
○ヒッパスダ。(指などを烈しく挟んだ。)

まねけん → たまに  
○イタミガ マネケン アル。  
(痛みがたまにある。)

まんぼとも → 両方とも  
よいなこっ → ようやく、やっと  
○ヨイナコッデシタ。(やっと来ました。)

わっぜ → とても  
○ワッゼ イタイ。(とても痛い。)

じんがじんが、ひりんひりん → ひりひり  
ずーっとした → 寒気がした

②山折り

5 感情・様態・態度

うぜらし → うるさい  
きばる → 頑張る、我慢する  
ぐらしか → うれしい、かわいそう  
げんね → はずかしい  
せっぺ → 精一杯  
てげてげ → いいかげん、ほどほど  
○テゲテゲニ シケバ エー ヤ。  
(ほどほどにしてあげばいいや。)

とぜんね・とじんね  
→ 寂しい、手持ちぶさた

ぬき → 温かい  
はらかく → 怒る  
○アー ハラカイタ。(ああ、腹が立った。)

むいなか → かわいそう  
やからお ほうい → だだをこねる  
「やから」が「駄々」のこと  
ゆっくい → ゆっくり

①山折り

6 動作

おなけ → 仰向け  
\* 反対は「はらばい」  
かかじる → 引っ掻く  
はんとける → つまづく  
ひっころぶ → 転倒する

「ひっ」は強調  
ぶ → 食べる  
「食べない」は「ぱん」  
\* ほとんど聞かれない

7 身体部位

つんぶし → 膝から下の部分  
どて → 歯茎  
○ドテガ ハレチョットデス。  
(歯茎が腫れているんです。)

びんた → 頭



へっ → 背中、肩甲骨のあたり  
○ヘッガ マエニ マワッタ。  
ヘッガ マエ モタ。  
(背中あたりの痛みが広がった。)  
\* よく使う表現  
むかすね → 向こうずね

8 人称・親族

あたい → 私(女性)  
あによ・あんさん → 兄  
あねじょ・あねさん → 姉  
うっかた → 妻・女房  
しんじ → 親類  
わい → お前

\*\*ご意見・ご要望をお知らせ下さい\*\*  
呉工業高等専門学校 人文社会系分野  
岩城裕之 研究室

プロジェクトのページ・方言データベース  
<http://ww4.tiki.ne.jp/~rockcat/hoken/index.html>



10 その他

けもん → 買い物  
こそくい → 修理、修繕  
すんくじら → 隅っこ  
ずんだれ → 怠惰な  
ちょのげ → 手ぬぐい  
なー → ねー  
ひえ → 菌、バイキン  
ぼっけもん → 向こう見ず  
やっばれ → 厄払い  
ゆえ → お祝い

○タイインシテ ユエオ スルゾ。  
(退院してお祝いをするぞ。)

9 食物

さしん → 刺身  
○サシंगा タベタカ チ。  
(刺身が食べたいよ。)

しおけ → 酒の肴、おかず  
しめもん → 煮染め  
だいやめ → 晩酌  
だつきしょ → 落花生  
でこん → 大根  
にがごい → にがり  
ぶえん → 鮮魚



注意すべき方言の特徴

①<地域による違いが大きい>  
鹿児島方言は、大隅と薩摩、  
奄美では大きく異なります。

②<アクセントでは区別しない>  
鹿児島方言は、アクセントの区別  
をしません。例えば、「雨」と  
「飴」はアクセントの区別がない  
ため、文脈で判断します。  
こちらがアクセントで意味を区別  
したつもりでも、伝わっていない  
ことがあるので注意が必要です。

③<同音異義語が多い>  
鹿児島方言では、単語の末尾が  
「っ」になることが多く、注意が必要  
です。  
次のような例があります。

とっ → 飛ぶ・時刻・時  
みっ → 水・右・道

文脈で判断する必要があります。

